



親子にこにこプロジェクト

育友会 研修活動部

桂林小学校校育友会の研修活動部が今年度から取り組んでいるのが「親子にこにこプロジェクト」です。これは、「子どもをほめる」ことを目的とした取組です。親子で目標を立て、一週間取り組みます。実行できたらほめる。できなかったとしても、チャレンジしようとしたことをほめる。そんな取組です。無理なく継続できる目標を立てることが、ポイントです。「ほめる」ってどんないいことがあるの？研修活動部からは次のようなことが紹介されています。

☆「認めてもらっている」「あなたのことをしっかりと見ている」という気持ちが伝わり、親子の信頼関係が深まる。
 ☆ほめられると、ドーパミンと呼ばれるやる気ホルモンが出るため、向上心が高まり、前向きに取り組む気持ちが芽生える。
 ☆「自分は出来る！」「もつとやれる！」といったポジティブな感情を促し、自身の可能性を広げるチャンスにつながる。

さて、どんな取組となったのか、終了後のアンケートから少しご紹介させていただきます。

どのような目標を立てましたか？

- ・お風呂掃除。床掃除。
- ・ご飯の手伝い。(米洗い、茶碗洗いなど)
- ・靴を並べる。
- ・兄弟に優しく接する。お世話をする。
- ・一日の宿題を親に確認してもらう。一日

の出来事を話す。

- ・家庭学習を毎日する。
- ・メディアの時間を守る。
- ・ご飯を食べるのに時間をかけない。
- ・ピアノの練習を頑張る。
- ・五日間掃除機をかける。
- ・食事中、行儀をよくする。
- ・いつも家族がしていることを手伝ってもらう。
- ・洗濯物を干す。たたむ。
- ・テーブルの上の片付け。
- ・お父さんかお母さんの肩もみをする。
- ・早寝早起き、健康管理。
- ・一緒に楽しむ。
- ・使ったものを元の場所に戻そう。
- ・思春期に入り始めている娘に、これからは今までみたいにスキンシップができなくなると思うので、寝る前に大好きを伝える時間になりました。
- ・読書。
- ・一番大変な弟のあそび相手。

どのようにほめましたか？声かけをしましたか？

- ・きれいにしてくれてありがとう
- ・靴並べ名人！と家族中で褒めました。想像以上に喜んで、翌日も自ら取り組みました。「名人」というワードは一年生にピッタリかもしれません！
- ・包丁の使い方、切り方が上手になったね。準備してもらえると早くご飯が食べられて嬉しいね。ありがとうと褒めました。
- ・ありがと！助かったよ！嬉しい！
- ・いつも靴を揃えてくれて、ありがと！
- ・またお願いします。
- ・初めて干したので干し方がおかしかったので、教えたら上手にできたので褒めました。

早く食べれたね、すごい！

- ・宿題の音読が上手になったね。
- ・お部屋が綺麗だと気持ちが良いよ。
- ・私が凄く助かったし、綺麗になって気持ちいいねと話しました！
- ・意識を持って過ごす事が大事だよ。メディアも時々が良いが、それに振り回される時間の使い方はもったいないね。
- ・夕飯が美味しく出来た！ありがとう。一緒に作ると楽しいな。
- ・最近、本当に、喧嘩する事が増えました。その時は、娘とハグする約束をしました。
- ・自分から気づいて台拭きや、靴ならべをして助かったよ！ありがとう。
- ・だんだん上手になったね。
- ・声をかけなくても、自分からしていいか？と言ってしてくれたので「ありがとう」と褒めました。
- ・やればできる！
- ・優しいお兄ちゃんですかるよ！
- ・助かったよ。たよりにしています。
- ・姉からお風呂の洗い方を教わり、ていねいに洗っていました。自分からすすんで洗っているのを見て「ありがとう」と伝えていきます。お米洗いは、自分から「米洗います」と言い、普段はすることがないので親が教えながら一緒に洗いました。
- ・完璧にできなくても、とりくんだ過程をほめてあげた。わからない所が自分で解けたら「すごい、できるじゃん！」とほめた。(↓目を輝かせて、ばく、天才！)
- ・おもしろいのができたね。
- ・読むのが上手になったね。

感想・ご意見など、お聞かせください。

- ・親子でニコニコになった週でした。
- ・普段から優しいけどさらに積極的にお世話してました。

- ・家族でも意識して褒めワードを使ったと思いません。本人、とっても喜んで主体的に行動していたので、改めてその大切さに気付きました。
- ・アスパラガスを手でホキホキ折ってもらって、包丁を使わなくても料理のお手伝いができることを教えることができて良かったです。子どもが手伝うと余計時間がかかって、あまり手伝いをお願いしませんでした。簡単なことから教えていくことで、食育にも繋がるし今後もお手伝いを頼んでいくと思えました。
- ・続ける事が難しく、もっと褒めやすい目標でないといふ出来てないことを指摘したくなり、褒めることの難しさを感じました。
- ・促さないように心がけてはいましたが、どうしても行ったら確認をしてしまいました。今後は自発性を促せるよう声かけをしていきたいです。
- ・これから子どももモチベーションを上げつつお手伝いしてもらえようと思っています。
- ・キッチンで並んで料理する機会が増えて成長を感じます。少しずつ出来るものが増えていく姿がとっても頼もしく見えて嬉しく思います。
- ・日頃からお手伝いはよく頑張ってくれている方だけど、いつも以上に頑張ってくれた気がした。
- ・学校主催の「親子にこにこサー」と同じ目標を立てて継続してやってみました。忙しい時は子どもがお皿を並べる前に声をかけてしまっていたので、子どもからお手伝いの意味ないじゃんと言われてしまいました。次回からは見守るよう気を付けようと思えました。
- ・継続できたらいいなと思います。
- ・毎口はお手伝いをしないので、定期的にこつこつ企画をしてくださる子どもも意識してお手伝いしてくるので助かります。
- ・こどもが生まれてきた時、親になって本当に感謝したのに、親としての生活が始まると、こどもへの感謝の思いを忘れてしまいます。桂林小学校の親子ニコニコプロジェクトの取り組み、ありがとございました。
- ・改めてきちんとほめる事の大切さを感じました。ゆっくり親子で話す時間も出来て良かったです。

- ・意識的に褒めることで、怒る機会が減った気がします。
- ・いつも何かしらのお手伝いはさせてますが、特別褒めてはなかったと思うので、伝えられて良かったと思えました。
- ・家族の一員として何かする事は、子どもにとって大事な事で、大人は子どもがやってくれたら褒めたり、感謝の気持ちを伝えると、嬉しそうにしている。気持ちよくしている事が身に付くと思うので、とても良い取り組みだと思います。
- ・注意することが多い中、積極的に褒めるように出来たのでよかったです。
- ・何をすると決めたら使命感があり苦痛になるので、できる人ができることをしようと決めただけ良かったです！
- ・家事手伝いを通して、自分が家族のために、誰かの為に、役立っていることを認識してほしいです。
- ・普段は、なかなかずっと付きっきりができないので、改めて子どもと向き合う良い機会になった。ほめられてやる気がUP。喜んでくれる子どもの顔を見て、自身もうれしく感じました。少しでも自己肯定感を高く持つてほしいので、少ない時間でも続けていけるようにしたいと思った。
- ・普段からほめていっているつもりでも、平日は家事などに追われて子どもと向き合う時間が少なく、ほめられていないと感じました。ちょっとした事でもほめてあげようと思いました。
- ・子どもたちの頑張りのや、やる気などいいところをみようと意識づけにもなって、子どもたちにとっても楽しそだったので、続けたいと思えます。
- ・とてもよいと思います。出来たらほめることで、子どもだけでなく親にとってもいいホルモンがでてるので。

紙面の関係上、全ては載せきれませんが、この取組を通して、家族間で色々なコミュニケーションがとれたことがわかり、ほっこりしました。研修活動部の皆さん、素敵な取組を大変ありがとうございました。

避難訓練実施 消防団豆田分団

十一月二十一日に地震及び火災発生を想定した避難訓練を実施しました。

避難訓練は、今年度これで三回目となり、子どもたちも静かに素早く行動することができました。避難指示の放送から運動場に避難完了するまでの時間も、前回に比べて大幅に短縮することができました。



訓練後には、日田市消防団豆田分団の方が、ポンプ車の放水を見せてくださいました。また、火事などに関する子どもたちからの質問にも丁寧に答えてくださいました。防災やいざという時の行動に対する子どもたちの意識を高めることができました。消防団の皆様、大変ありがとうございました。

大興奮!! インカニヤン コンサート

十一月二十一日、桂林小学校に「インカニヤン」という南米ペルーの音楽グループがやってきました。リズムカルでパワフルなラテン音楽に、子どもたちも大熱狂でした。

彼らは、日本のコンサートでの収益金でペルーに小学校を建てています。地域の方々もいらっしやって、みんな盛り上がる楽しい時間となりました。

